

<報道発表資料>

平成23年7月7日

農林施策

放射性物質の農産物への影響調査について（第25報）

埼玉県は、国の協力を得て、東京電力福島第一原子力発電所の事故に伴う放射性物質の農産物への影響調査を実施しました。7月5日に現地ほ場から野菜を採取し分析を行ったところ、全ての試料で放射性物質は検出されませんでした。

埼玉県では、放射性物質の農産物への影響を引き続き調査してまいります。

- 1 調査地域
春日部市、新座市、幸手市、日高市、松伏町
- 2 調査対象

キュウリ	2 検体
ナス	1 検体
ミニトマト	1 検体
ダイコン	1 検体
合計	5 検体
- 3 採取日 平成23年7月5日
- 4 結果判明日 平成23年7月7日
- 5 調査結果

分析機関：財団法人 日本食品分析センター多摩研究所

市町村	品目	放射性物質の濃度 (Bq/kg)			
		放射性ヨウ素	放射性セシウム 134	放射性セシウム 137	放射性セシウム 計
幸手市	キュウリ	検出せず	検出せず	検出せず	—
日高市		検出せず	検出せず	検出せず	—
春日部市	ナス	検出せず	検出せず	検出せず	—
松伏町	ミニトマト	検出せず	検出せず	検出せず	—
新座市	ダイコン	検出せず	検出せず	検出せず	—
暫定規制値	野菜	2,000※	—		500

※ 根菜、芋類を除く

※ 「検出せず」とは、検査機器で測定できる定量下限値未満であることを示す。

定量下限値：放射性ヨウ素 20Bq/kg、放射性セシウム 2.4~5.0Bq/kg